

様式1 令和7年度 清瀬市立清瀬第三中学校 学校評価計画					
学校の教育目標		人間尊重の精神を基盤とし、希望に満ちた社会をめざす健康で明るく、知性ある人間を育成する。 1 思いやりのある生徒…【思考力】 2 自主性のある生徒…【行動力】 3 協力する生徒…【人間力】			
目指す学校像(ビジョン)					
【目指す学校像】		1 生徒、教職員共に互いを認め合う学校 2 安全・安心が担保された環境の中で生活できる学校 3 笑顔で気持ちよく挨拶ができる学校			
【目指す児童・生徒像】		1 思いやりのある生徒 2 自主性のある生徒 3 互いに協力する生徒			
【目指す教師像】		1 確かな学力を身に付けさせる教師 2 生徒のロールモデルとなる教師 3 主体的に自己研鑽に励む教師			
前年度までの学校経営上の成果と課題					
<成果> ・生徒が主体的に教育活動に参画する場面が増え、運動会や合唱コンクール、宿泊行事等の体験的活動で達成感、成就感を味わうことができた。また、ボランティア活動や地域行事等への参加を通して自己肯定感、自己有用感を高めることができた。特別支援教育の充実に向けた校内研修を、校内委員会を定期的に開催して個々の教育的ニーズにあった支援方法を探ることができた。 <課題>落ち着いた学校生活や授業規律に課題があり、基礎学力の定着に結びついていない現状がある。また、ICTを活用した個に応じた指導や家庭学習の定着、学校図書館を活用した授業や取り組みが不十分であり、生徒一人一人のよさや能力を伸ばす教育に取り組んでいるが保護者への理解も含め課題がある。					
柱	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標(評価基準)	成果指標(評価基準)
確かな学力の向上	小・中9年間の接続を重視した「基礎学力の定着」と「思考力」の育成に向けた授業改善を促進する。 【デジタル教育推進校】としてデジタルを効果的に活用した授業実践を積み重ねる。	・規律のある授業と個に応じた指導により「学びに向かう力」の向上を図る。 ・デジタル学習基盤を前提とした「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体の充実に努める。 ・「考えさせる」ことに重きをおいた授業力向上に向け、小中で連携を図り、「思考力・判断力・表現力」を育成する。 ・学校図書館を活用した学びの充実及び読書時間、貸出数の増加による読書力向上を図る。	・教科の特性に応じたICT機器の積極的な活用を推進する。 ・長期休業中、放課後、定期考査前の補習学習を実施する。 ・校内研修(参集型・オンライン・自主研修)の充実を図りながら、職能向上を図る。 ・「授業スタンダード」を定着させる。 ・図書館推進委員、図書館支援員を中心に読書活動を活性化する。	4 教員の肯定的評価が 9 0 % 以上	4 保護者の肯定的評価が 8 0 % 以上
				3 “ ” 8 0 % 以上	3 “ ” 7 0 % 以上
				2 “ ” 6 0 % 以上	2 “ ” 6 0 % 以上
				1 “ ” 6 0 % 未満	1 “ ” 6 0 % 未満
				4 教員の肯定的評価が 9 0 % 以上	4 保護者の肯定的評価が 8 0 % 以上
豊かな心の育成	道徳科および道徳教育を充実させ、人権尊重、規範意識などの醸成とともに自他の命の大切さを互いに認め合える生徒を育成する。	・道徳科授業の改善を図るとともに、教育活動全般において道徳教育の充実を図る。特に「命」の教育に重点的に取り組む。 ・心得「あ・じ・み・こ・し」を基本的な生活習慣確立の基盤とし、いじめの未然防止、早期発見の強化を図る。	・「考え、議論する道徳」を実践する。 ・各教科の中で人権に関わる内容を意識的に取り上げ、自他を尊重する意識を向上させる。 ・年間6回のふれあいアンケートの実施により教育相談を充実させ、いじめの未然防止、早期発見に努める。 ・アセスを活用した人間力の向上を図る。	4 教員の肯定的評価が 9 0 % 以上	4 保護者の肯定的評価が 8 0 % 以上
				3 “ ” 8 0 % 以上	3 “ ” 7 0 % 以上
				2 “ ” 6 0 % 以上	2 “ ” 6 0 % 以上
				1 “ ” 6 0 % 未満	1 “ ” 6 0 % 未満
				4 教員の肯定的評価が 9 0 % 以上	4 保護者の肯定的評価が 8 0 % 以上
健やかな体の育成	身体を動かすことに興味をもつとともに、自らの健康状況について意識を高めながら安全な生活を送ることができる。	・「伝統文化・異文化への理解(空手・ハカ)」を深めた運動の促進、保健体育科の授業や体育的行事、部活動等の充実によって体力の向上を図る。 ・安全や健康、食についての意識を高め、自ら改善しようとする態度を育む。(がん教育・認知症への理解等の講演を実施する)	・外部講師と連携しながら、個の実態に応じた運動方法を理解させ、それぞれの課題解決を図ることで、自己の体力増強に取り組ませる。 ・健康・安全指導や食育への理解促進に努めていく。(外部講師の招聘) ・食物アレルギーに関する危機管理体制を強化していく。	4 教員の肯定的評価が 9 0 % 以上	4 保護者の肯定的評価が 8 0 % 以上
				3 “ ” 8 0 % 以上	3 “ ” 7 0 % 以上
				2 “ ” 6 0 % 以上	2 “ ” 6 0 % 以上
				1 “ ” 6 0 % 未満	1 “ ” 6 0 % 未満
				4 教員の肯定的評価が 9 0 % 以上	4 保護者の肯定的評価が 8 0 % 以上
特別支援教育の充実	「誰一人取り残さない学びの保障」の観点に基づき、教室環境の整備や授業改善を推進し、すべての生徒に「学ぶ楽しさ」を味わわせる。	・特別支援教育校内員会において特別な支援を要する生徒の支援方法について検討を重ね、職員間で情報共有を密にした学習指導、支援に努める。 ・不登校対策校内委員会を中心に、登校しづらい、不登校生徒に登校を促す支援方法を検討し、安心して過ごせる「居場所(学ぶ場)づくり」の提供を図る。	SCや不登校巡回教員から専門的な知識を取り入れながら、支援方法を検討し、組織的・計画的に生徒に寄り添った指導・支援を行う。 ・登校しづらいの早期発見と対応についてステップルームを活用しながら、登校支援を行うと併に、オンラインによる学習支援を行う。また、外部機関(フレンドルームやフリースクール)との連携のもと、不登校生徒の学びを保障する。	4 情報共有を年間 6 回実施	4 教職員の達成度の評価 A
				3 情報共有を年間 5 回実施	3 教職員の達成度の評価 B
				2 情報共有を年間 4 回実施	2 教職員の達成度の評価 C
				1 情報共有を年間 3 回実施	1 教職員の達成度の評価 D
				4 情報共有を年間 6 回実施	4 教職員の達成度の評価 A
本校の特色	郷土愛を育むために地域と協働した学校づくり体制を構築する。	・地域人材の活用、地域行事の積極的な参加を通して地域の一員としての自覚を持った生徒を育成する。 ・学校の情報を地域・保護者へ積極的に発信し、教育活動への参画意識を醸成する。	・きよせろボのよる命の講話を実施する。 ・清瀬空手道連盟から講師派遣による授業を行う。 ・地域イベント、お祭り、青少協行事のボランティア活動に参加する機会を奨励する。 ・学校ホームページの更新と閲覧状況の確認をする。 ・学校行事、学校便り、学年・学級便り等をHome&Schoolの活用によって情報発信し、広く周知する。	4 教員の肯定的評価が 9 0 % 以上	4 保護者の肯定的評価が 8 0 % 以上
				3 “ ” 8 0 % 以上	3 “ ” 7 0 % 以上
				2 “ ” 6 0 % 以上	2 “ ” 6 0 % 以上
				1 “ ” 6 0 % 未満	1 “ ” 6 0 % 未満
				4 教員の肯定的評価が 9 0 % 以上	4 保護者の肯定的評価が 8 0 % 以上
				3 “ ” 8 0 % 以上	3 “ ” 7 0 % 以上
				2 “ ” 6 0 % 以上	2 “ ” 6 0 % 以上
				1 “ ” 6 0 % 未満	1 “ ” 6 0 % 未満
				4 教員の肯定的評価が 9 0 % 以上	4 保護者の肯定的評価が 8 0 % 以上
				3 “ ” 8 0 % 以上	3 “ ” 7 0 % 以上
				2 “ ” 6 0 % 以上	2 “ ” 6 0 % 以上
				1 “ ” 6 0 % 未満	1 “ ” 6 0 % 未満